

議題 1. 平成 29 年度学会活動状況報告の件

(1) 平成 29 年度年次総会開催の件

平成 29 年 6 月 24 日（土）、慶應義塾大学三田キャンパス（東京・港区）に於いて平成 29 年度年次総会を開催した。

総会出席正会員数 75 名、委任状 141 名⇒合計 216 名

（議決必要人員 131 名／正会員総数 394 名／総会員数 465 名）

総会議題

議題 1. 平成 28 年度学会活動状況報告の件

議題 2. 平成 28 年度学会決算報告の件

議題 3. 監査報告の件

議題 4. 平成 29 年度学会活動計画審議の件（案）

議題 5. 平成 29 年度学会予算審議の件（案）

議題 6. 会則変更の件（案）

議題 7. 役員改選の件（案）

上記が審議され、原案通り決定された。

(2) 理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。

（平成 29 年）

第 154 回理事会 4 月 22 日（土）平成 29 年度年次総会議案の件、他

第 155 回理事会 6 月 24 日（土）会長専任の件、他

第 156 回理事会 9 月 16 日（土）新規研究部会立ち上げの件、他

第 157 回理事会 11 月 18 日（土）平成 30 年度研究発表大会統一テーマおよび
日程決定の件、他

（平成 30 年）

第 158 回理事会 1 月 18 日（木）平成 30 年度研究発表大会の件、他

(3) 研究発表大会開催の件

第 25 回研究発表大会を平成 29 年 6 月 24 日（土）- 25 日（日）慶應義塾大学三田キャンパス（東京・港区）において開催した。統一論題「経営倫理の過去・現在・未来」について当学会より依頼した有識者による統一論題シンポジウムを行った。また 17 本の研究発表と 2 つのワークショップ（タイトル「文献検索と論文作法」、「公務員に求められる職業倫理について考える」）を 3 会場で 2 日間に分けて行った。加えて当学会では初の試みとなるポスターセッションを開催した。

(4) 研究交流例会開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。

* 第 94 回研究交流例会（平成 29 年 4 月 22 日）

「CSR 活動を通じた地域防災力の向上に関して」

丸紅株式会社 段 牧氏

* 第 95 回研究交流例会（平成 29 年 9 月 16 日）

議題 1. 平成 29 年度学会活動状況報告の件

「米国経営倫理学会 2017 年度年次大会参加報告」

当学会理事、金沢工業大学准教授 岡部幸徳 氏

当学会会員、慶應義塾大学大学院（学生） 本橋潤子 氏

* 第 96 回研究交流例会（平成 29 年 11 月 18 日）

『「良心による企業統治」とコーポレート・ガバナンス改革の限界』 一橋大学大学院教授 田中一弘 氏

（5）究部会活動報告の件

各研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙 1 にて報告。

部会長および登録メンバー数（平成 30 年 3 月末現在）。

1. 理念・哲学研究部会

部会長：村山 元理 氏 登録メンバー数：17 名

2. 企業行動研究部会

部会長：勝田 和行 氏 登録メンバー数：65 名

3. ガバナンス研究部会

部会長：今井 祐 氏 登録メンバー数：26 名

4. 実証調査研究部会

部会長：福永 晶彦 氏 登録メンバー数：11 名

5. CSR 研究部会

部会長：蟻生 俊夫 氏 登録メンバー数：88 名

6. 経営倫理教育研究部会

部会長：岡部 幸徳 氏 登録メンバー数：22 名

7. ESG 投資研究部会

部会長：小方 信幸 氏 登録メンバー数：24 名

8. 若手研究者育成研究部会

部会長：梅津 光弘 氏 登録メンバー数：15 名

（6）地方組織活動の件

関西および中部各地区研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙 1 にて報告。

研究部会長、登録メンバー数（平成 30 年 3 月末現在）。

（Ⅰ）関西地区研究部会

部会長：狩俣 正雄 氏 登録メンバー数：約 25 名

（Ⅱ）中部地区研究部会

部会長：蕎麦谷 茂 氏 登録メンバー数：14 名

（7）学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため学会報 No. 73 第 76 号（平成 29 年 7 月 31 日発行）、No. 74 第 77 号（平成 29 年 12 月 4 日発行）、No. 75 第 78 号（平成 30 年 2 月 28 日発行）をそれぞれ発行し会員各位に配布した。

議題 1. 平成 29 年度学会活動状況報告の件

(8) 学会誌発刊の件

慶應義塾大学で開催された第 25 回研究発表大会での発表を中心に、論文 9 本、論説 2 本からなる『日本経営倫理学会誌第 25 号』を平成 30 年 2 月に発刊した。

(9) 第 9 回経営倫理シンポジウム開催の件

当学会主催、共催経営倫理実践研究センター、慶應義塾大学梅津ゼミおよび後援外務省の第 9 回経営倫理シンポジウムを平成 30 年 1 月 18 日、慶應義塾大学三田キャンパス（東京・港区）において開催した。今回の統一テーマは「世界共通語となった持続可能な開発目標（SDGs）と経営倫理：ESG 時代に企業は SDGs にどう貢献するか」。当日の登壇者とテーマは以下の通り。

◆基調講演◆

- (1) 「SDGs 推進に関する日本政府の取組」 鈴木 秀生氏 外務省 地球規模課題審議官 [大使]
- (2) 「企業行動憲章の改訂-Society5.0 を通じた SDGs の達成」
長谷川知子氏 （一社）日本経済団体連合会 教育・CSR 本部長
- (3) 「ESG 時代の企業による SDGs 活用と価値創造」
笹谷 秀光 JABES 理事・シンポジウム実行委員長/(株)伊藤園 常務執行役員

◆パネルディスカッション◆

*パネリスト

鈴木 秀生氏 長谷川知子氏 笹谷 秀光
沖 大幹氏 国際連合大学 上級副学長
鈴木 亮氏 (株)日本経済新聞社編集局 編集委員兼キャスター
黒田かをり氏 (一財)CSO ネットワーク 事務局長・理事

*モデレータ

梅津 光弘 JABES 会長/慶應義塾大学 准教授

シンポジウム終了後は講師陣も参加しての懇親会を開催し、シンポの熱気そのままに各々談義される姿が見られた。

(10) 学生の経営倫理意識向上の支援の件

平成 27 年度より、大学間での学生との研究交流プロジェクトである CSR 構想インターゼミナールを後援。詳細は別紙 2 にて報告。

(11) 年会費自動振替への移行の件

平成 22 年度より、会員の年会費の支払い忘れや事務局の年会費請求作業軽減のため自動振替制度を導入し、会員へは引き続き自動振替への切替を随時お願いしている。

以上